

「移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証」の 対象サービス等について(案)

令和4年12月21日

事 務 局

- ガイドラインにおいては、MNO 3社が提供するサービス・料金プラン（以下「サービス等※」という）のうち、次の①から③までの要件を全て満たすものを検証対象とすることとしている。

基準①：料金が近接していること

MNO 3社が現に提供しているサービス等のうち、その料金の月額相当額が、MVNOが現に提供する同等のサービス等の料金の月額相当額を下回るか、又はこれと近接しているもの

基準②：具体的な課題に基づく要望があること

①に示すサービス等のうち、MVNO又はその関連団体から具体的な課題に基づいて本件検証の対象とすべき旨の要望が寄せられたもの

▶ 「具体的な課題」の例

- MVNOからMNO 3社へ継続的に利用者が移行していることが定量的に明らかである場合
- MVNOが①に示すサービス等と同等の価格で競合サービス等を提供することが困難であることが立証出来る場合

基準③：検証の合理性が認められること

②において要望が寄せられたサービス等のうち、本件検証を行う合理性があることが有識者会合において認められたもの

※ 単一の料金プランの中で、利用者が各自のニーズに応じてデータ通信容量のオプションを選択するものについては、本件検証において、各オプションを個別の料金プランとして取り扱う。

MVNO意見

- MNO 3社の提供するサービス等のうち、低容量帯の4プラン及び中容量帯の5プランについては、MVNOのサービス等と料金が近接しているのではないか。(MVNO委員会)

MVNO側から料金近接の指摘があったプラン

(税込)

低容量帯プラン	MVNOプラン		MNOプラン			
	IIJmio	mineo	UQmobile	Y!mobile	povo2.0	LINEMO
データ容量	4 GB	5 GB	3 GB			
データ通信料金	¥990	¥1,518	¥1,628	¥2,178	¥990 (※1)	¥990
音声定額料金	¥500 (※2)	¥550 (※3)	¥770 (※3)	¥770 (※3)	¥550 (※2)	¥550 (※2)
月額料金	<u>¥1,490</u>	<u>¥2,068</u>	<u>¥2,398</u>	<u>¥2,948</u>	<u>¥1,540</u>	<u>¥1,540</u>

中容量帯プラン	MVNOプラン		MNOプラン				
	IIJmio	mineo	UQmobile	Y!mobile	ahamo	povo2.0	LINEMO
データ容量	20GB		15GB		20GB		
データ通信料金	¥2,000	¥2,178	¥2,728	¥3,278	¥2,970	¥2,700 (※1)	¥2,728
音声定額料金	¥500 (※2)	¥550 (※3)	¥770 (※3)	¥770 (※3)	¥0 (※2)	¥550 (※2)	¥550 (※2)
月額料金	<u>¥2,500</u>	<u>¥2,728</u>	<u>¥3,498</u>	<u>¥4,048</u>	<u>¥2,970</u>	<u>¥3,250</u>	<u>¥3,278</u>

(※1) 月額基本料金0円に、30日間有効の3GBトッピング料金990円/20GBトッピング料金2,700円をそれぞれ加算したもの

(※2) 国内通話5分定額の価格

(※3) 国内通話10分定額の価格

※各社プランの内容は2022年11月1日時点のもの

(接続料の算定等に関する研究会第64回MVNO委員会資料を基に総務省で作成)

MNO意見

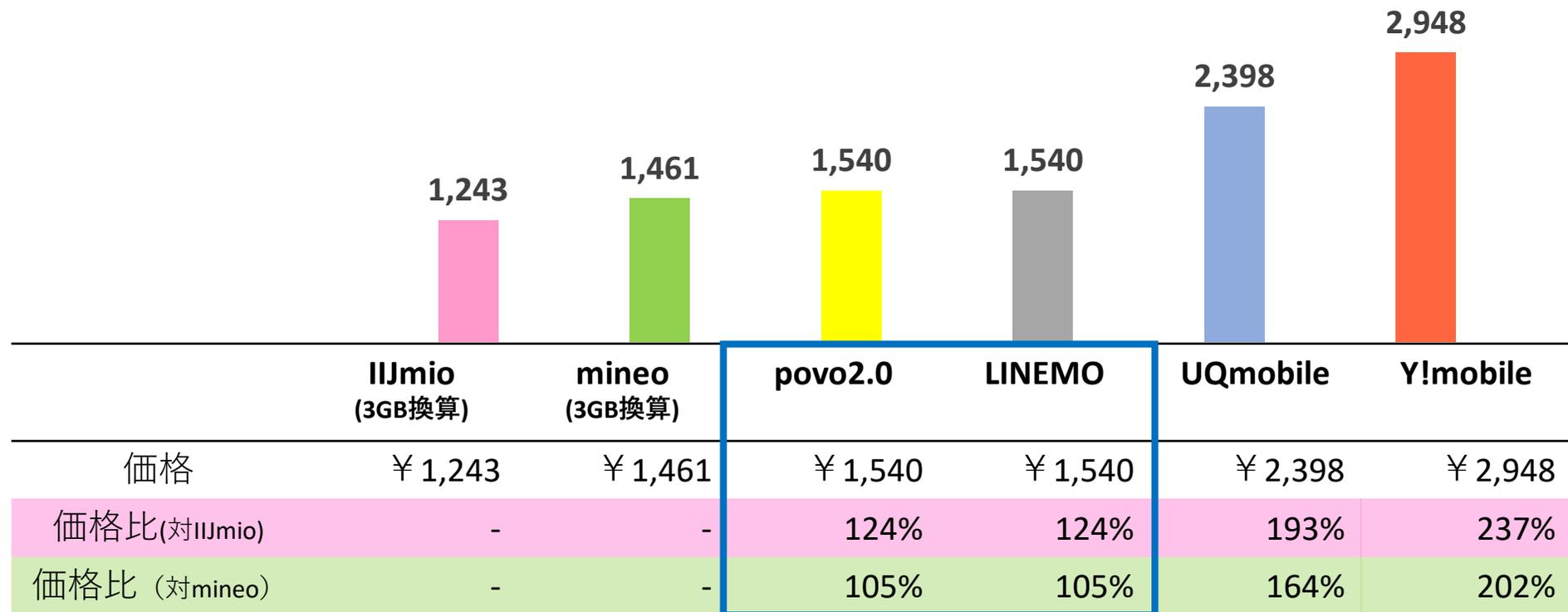
- ahamo/povo2.0/LINEMOの中容量帯プランは、MVNOの料金との近接しているのではないか。 (NTTドコモ)
- MVNO側から検証要望のあったMNOのサービス等の中には、月額料金がMVNOのサービス等を60%以上上回っているものもある。特に低容量帯のUQmobile/Y!mobile及び中容量帯については、「月額相当額を下回る、又は近接」している状況か否かについて、有識者会合において合理性を検証すべき。 (KDDI)
- 低容量帯におけるY!mobile、中容量帯におけるY!Mobile/LINEMOについては、競争事業者のサービス等とは一定の料金乖離が認められるのではないか。 (ソフトバンク)

提供するMNO自身が近接を認識しているプラン

低容量帯プラン		MNOプラン			
		UQmobile	Y!mobile	povo2.0	LINEMO
データ容量		3GB			
月額料金		¥2,398	¥2,948	¥1,540	¥1,540
MNO意見	KDDI	近接しているか要検証			料金が近接
	ソフトバンク	-	近接しているか要検証		

中容量帯プラン		MNOプラン				
		UQmobile	Y!mobile	ahamo	povo2.0	LINEMO
データ容量		15GB		20GB		
月額料金		¥3,498	¥4,048	¥2,970	¥3,250	¥3,278
MNO意見	NTTドコモ	-		料金が近接	料金が近接	料金が近接
	KDDI	近接しているか要検証				
	ソフトバンク	近接しているか要検証				

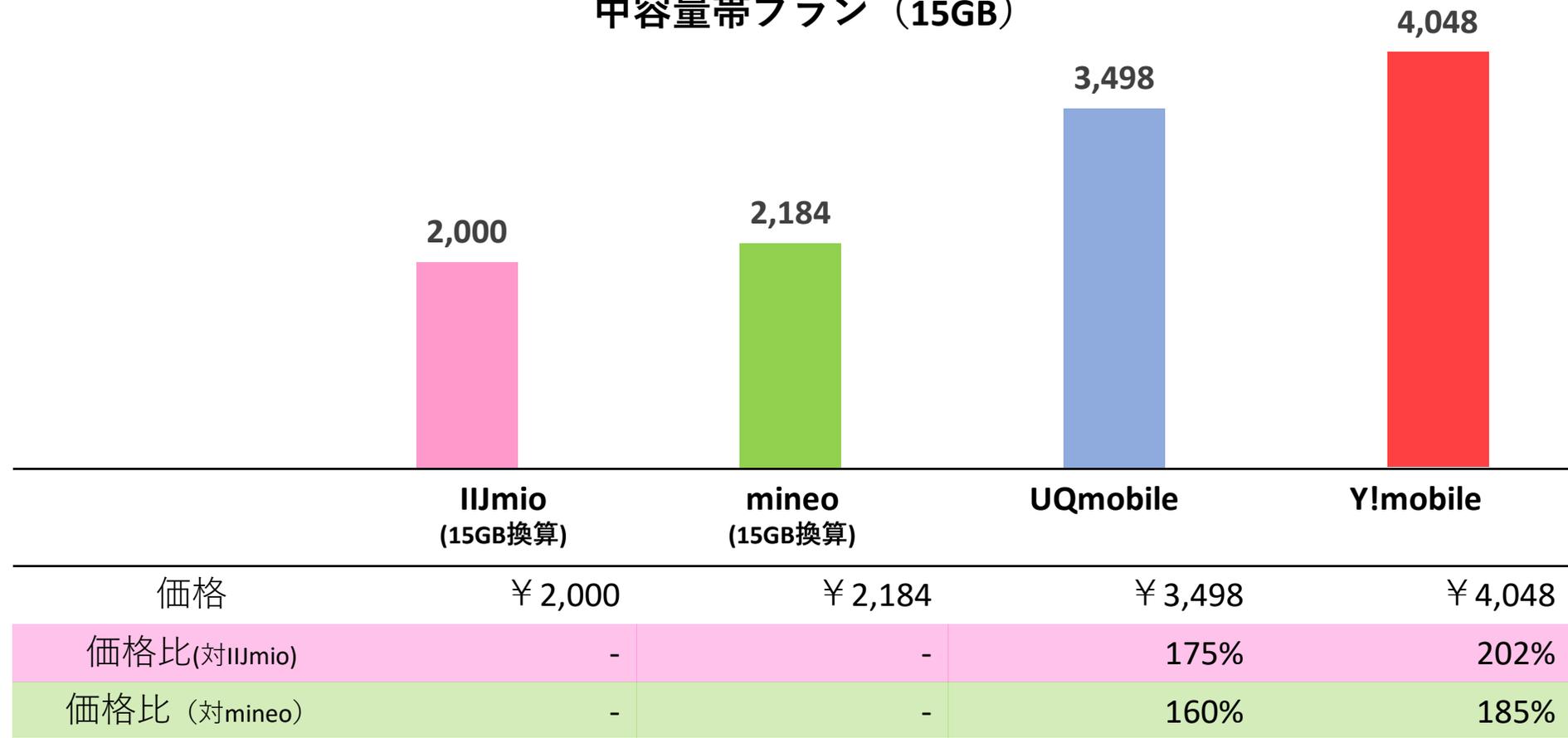
低容量帯プラン（3GB）



整理案

- povo2.0/LINEMOが提供する低容量帯プランについては、MVNOの提供するプランと料金の近接度合いが高く（5%～24%）、特にmineoの同容量帯プランとの料金の乖離が10%未満であることを踏まえれば、基準①を満たすとみなすことが適当ではないか。
- UQmobile/Y!mobileが提供する低容量帯プランについては、MVNOの料金と一定程度乖離（64%～137%）しており、基準①を満たしていないとみなすことが適当ではないか。

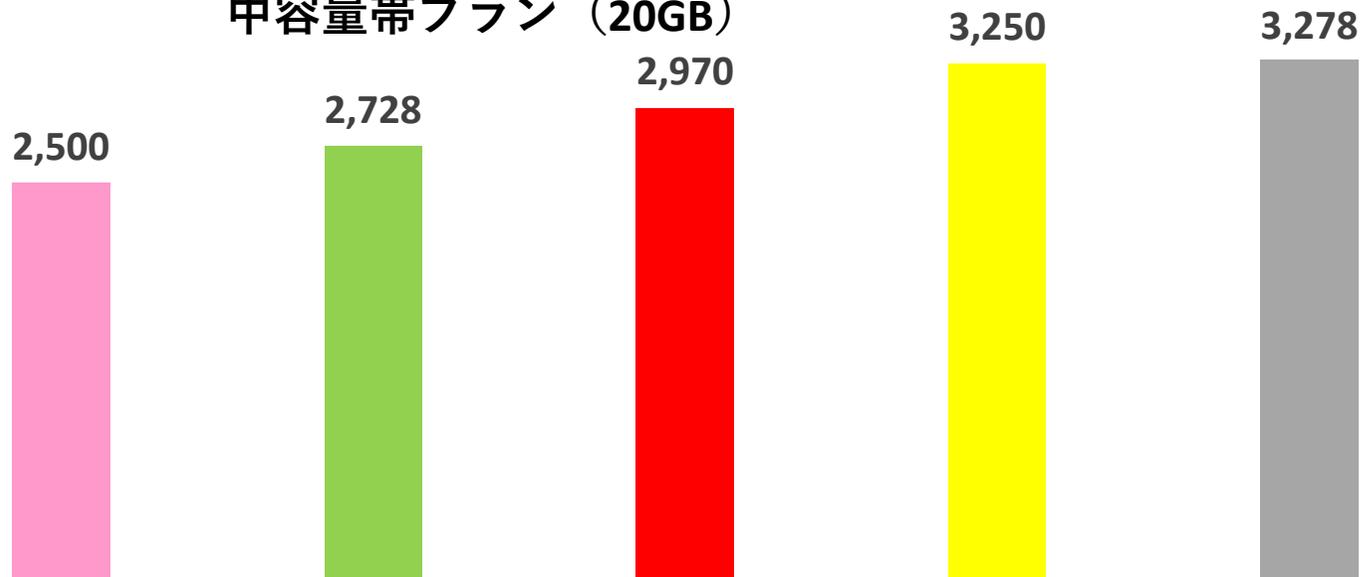
中容量帯プラン（15GB）



整理案

- UQmobile/Y!mobileが提供する中容量帯プランについては、MVNOの料金と一定程度乖離（60%～102%）しており、基準①を満たしていないとみなすことが適当ではないか。

中容量帯プラン (20GB)



	IJmio	mineo	ahamo	povo2.0	LINEMO
価格	¥ 2,500	¥ 2,728	¥ 2,970	¥ 3,250	¥ 3,278
価格比(対IJmio)	-	-	119%	130%	131%
価格比 (対mineo)	-	-	109%	119%	120%

整理案

- ahamoが提供する中容量帯プラン(20GB)については、MVNOの提供するプランと料金の近接度合いが高く(9%~19%)、特にmineoの同容量帯プランとの料金の乖離が10%未満であることを踏まえれば、基準①を満たすとみなすことが適当ではないか。
- povo2.0/LINEMOが提供する中容量帯プラン(20GB)については、MVNOの提供するプランとの料金の乖離が10%以上ではあるものの、一定程度近接(19%~31%)しているため、基準①を満たさないとまでは言えないのではないか。

MVNO意見

- MVNOからの移行を検討している者にアンケートを実施したところ、約1/3がMNOのサブブランド及び廉価プランへの乗り換え意向を示しており、今後も現在の傾向が継続する可能性が高い。(MVNO委員会)
- MNOからの移行を検討している者に対してアンケートを実施したところ、45%がMNOのサブブランド等への乗り換え意向を示した一方、MVNOへの乗り換え意向を示したのは13%にとどまった。(MVNO委員会)
- 当社サービス等からMNOの廉価プラン及びサブブランドに毎月一定の割合で転出しており、割合は増加傾向にある。(I I J)
- 低容量帯(1~5GB)においてはMNOのサブブランドへの、中容量帯(10~20GB)においてはMNOのオンライン専用プランへの転出割合が継続的に高いことが確認できた。(オプテージ)

MNO意見

- 検証は料金プラン単位で行われることから、MVNOはプラン毎の利用者転出情報を提示すべきであるが、プラン毎の情報抽出が運用上困難であれば、ブランド単位の利用者移行情報を提示すべき。(KDDI、ソフトバンク)
- MVNOから提示された情報により「競争事業者から指定事業者へ継続的に利用者が移行していることが定量的に明らか」であると判断できるか否か、有識者会合において合理性を検証すべき。(KDDI、ソフトバンク)

構成員意見

- 料金プラン毎の移行状況のデータについては、むしろMNO側が正確に把握しているのではないか。MVNO側から正確なデータを提示することは困難ではないか。

MVNOの料金プランとMNOの廉価プラン及びサブブランド間の課題について



- 当社サービスからMNOの廉価プラン及びサブブランドに転出している割合は毎月一定の割合で存在
今年度に入ってからはその割合は増加傾向であり深刻さは益々増加している

構成員限り

mineoプラン（容量帯毎）の主な転出先割合

2

- 低容量帯（1～5GB）では、サブブランドへの転出割合が高く、中容量帯（10～20GB）では、オンライン専用プランの転出割合が高い。

構成員限り

整理案

- MVNOから寄せられた転出に関する課題を踏まえれば、
 - ・ 低容量帯においては、povo2.0/LINEMOに対してMVNOから継続的に一定程度の転出が認められることから基準②を満たしているとみなすことが適当ではないか。
 - ・ 中容量帯 (20GB) においては、ahamo/povo2.0/LINEMOのそれぞれに対してMVNOから継続的に一定程度の転出が認められるが、MVNOから特にahamoについて転出の度合いが高いことが指摘されていることを踏まえ、今回の検証においては、ahamoのみが基準②を満たしているとみなすことが適当ではないか。
- 今後は、MVNOが本件検証の要望をする際に、より説得力のあるデータを示すことができるよう、転出するユーザーへのアンケート方法等について見直すことも考えられるのではないかと。

MNO意見

- MNOと直接契約関係にないMVNOから、当該MNOのサービス等について検証要望が寄せられた場合は、当該要望の合理性について、接続料の違い等を踏まえた慎重な議論をすべき。 具体的には、当該MNOと契約をした場合に、当該MNOのサービス等と同等の料金でMVNOがサービス等を提供することが困難であること等を定量的に示すべき。（ソフトバンク）

整理案

- 検証を要望したMVNOと検証を行うMNOとの間に直接の契約関係がない場合についても、当該MNOの提供するサービス等の料金水準について確認することは、MVNOが契約相手方のMNOを選択する上で有用な情報になると考えられることから、直接の契約関係がないことのみを理由に当該サービス等を検証対象から除外するのは不適當ではないか。

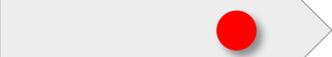
検証対象サービス

- 基準①、②、③及びこれまでの本研究会における議論を踏まえれば、以下のサービス等について、本件検証の対象とすることが適当ではないか。

事業者	ブランド	データ容量	サービス等
NTTドコモ	ahamo	20GB	ahamo
KDDI	povo2.0	3GB	povo 2.0 ※1
ソフトバンク	LINEMO	3GB	LINEMO ミニプラン※2

※1 「ベースプラン」に、「データ追加 3GB (30 日間)」のデータトッピングを追加したもの

※2 LINEMOとして提供する料金プランのうちデータ容量 3GB/月のプラン

時期	令和4年				令和5年
	9月	10月	11月	12月	1月～3月
指針策定	指針案提示 	意見公募 	指針公表 		
対象サービス等決定			ヒアリング① (競争事業者等) 	ヒアリング② (指定事業者) 	対象サービス等決定 
スタックテスト実施					スタックテスト実施 

○第62回会合(9/27):指針案の提示

○9/29～10/28:意見公募

○第64回会合(11/15):対象サービス等に関するヒアリング①(競争事業者等(MVNO委員会、IIJ、オプテージ))

○11/28:指針公表

○第65回会合(11/30):対象サービス等に関するヒアリング②(指定事業者(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク))

○第66回会合(12/21):対象サービス等の決定

○年度内:スタックテスト実施